

**グランドアクシス100ボアアップ(117.2cc)ピストン・シリンダキット 取扱説明書**

商品番号：01-05-4451  
 : 01-05-4452 (ポート加工)  
 : 01-02-3070 (ピストンキット)  
 適合車種およびフレーム番号  
 YA100 SB01J~  
 YA100W SB06J~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

**ご使用前に必ずお読み下さい**

恒らし運転は、40 km/h以下の速度で、100 km以上行って下さい。又、アクセル開度は1/2以下で行って下さい。恒らし運転中はガソリタンクにもエンジンオイルをガソリン100に対してエンジンオイル1の割合で入れ、混合して下さい。ノーマルキャブレターのメインジェットを#5~10番程度上げて下さい。燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。スパークプラグは焼け具合により熱価を設定してください。尚、必ず抵抗入りのスパークプラグを使用して下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。当製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。当製品の取り付けには上記適応車種にあったヤマハ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。  
 サービスマニュアル品番 : 5FA 28197 J0  
 追補版(YA100W)品番 : 5FA 28197 J5

取り付けの際には取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やヤマハ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用的な専門店へご依頼されることをお勧め致します。ボルト、ナット、ロックピン、パッキン等の一部は再使用しますが、損傷、劣化が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。ピストンキットはノーマルシリンダーをポーリング加工しても、使用出来ません。01 05 4451及び01 05 4452専用の補修部品です。

**注意** この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り適法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し、摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させるときは、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## ～商品内容～



番号	商品内容	数量
1	シリンダーヘッド	1
2	シリンダ	1
	ピストン	1
	ピストンリング	2
	ピストンピン	1
	ピストンピンサークリップ	2
	ヘッドガスケット	1
	シリンダーガスケット	1
	エキゾーストパイプガスケット	1

印はピストンキットの内容を示します。

## ～取り付け要領～

水平な場所でセンタースタンドで車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラが冷えている時）に行ってください。

### 取り外し

ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにして下さい。

取り外したボルトやナットは無くさないよう、どの場所に使用するかわかるように保管して下さい。

### 1. カバー類の取り外し

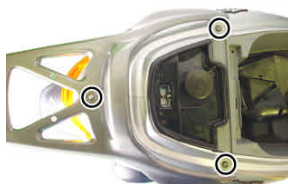
各スクリユを取り外し、サイドカバーモールド左右を取り外します。



ナット2個を取り外し、シートを取り外します。



各ボルトを取り外し、キャリアを取り外します。



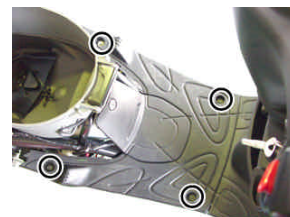
サイドカバー左右のスクリユをそれぞれ2本ずつ取り外します。



各スクリユを取り外し、サイドカバー前を取り外します。



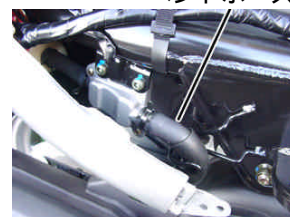
バッテリーのリード線を外し、各スクリユを取り外してフットレストボードを取り外します。



### 2. マフラの取り外し

エアインダクションにつながるベントホースの接続を外します（YA100Wの場合）。

#### ベントホース

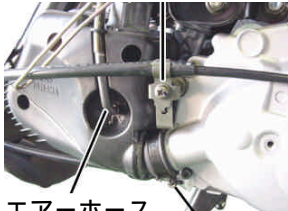


シリンダー側のボルト2本、ステー部のボルト2本を取り外し、マフラを取り外します。



3. エアークリーナーケースの取り外し  
キャブレターにつながるエアホースを外します（YA100Wの場合）。  
スクリュー1本をケーブルガイドとカラーと共に取り外します。  
クランクケースカバーにつながるコネクティングチューブのバンドのスクリューをゆるめます。

スクリュー



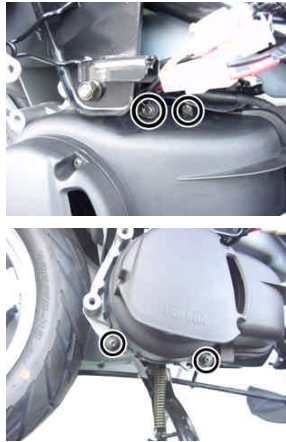
エアホース      バンドスクリュー

キャブレターにつながるコネクティングチューブのクリップを外し、エアークリーナーケースを取り外します。  
キャブレターにゴミが入らないように注意して下さい。



クリップ

4. エアシュラウドの取り外し  
スパークプラグキャップを抜き取ります。  
スクリュー3本とタッピングスクリュー1本を取り外し、ファンエアシュラウドを取り外します。

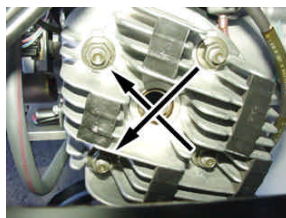


オイルラインのホース2本をシリンダーのエアシュラウドから取り外します。



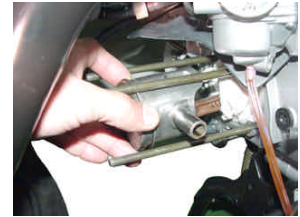
シリンダーのエアシュラウドを取り外します。

5. シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し  
スパークプラグを取り外します。  
4個のナットを対角に何回かに分けて緩め、シリンダーヘッドを取り外します。



シリンダーを外します。  
クランクケース内にゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。

サークリップの片側を外し、ピストンピンを抜いてピストンを外します。



ベアリングを外しておきます。



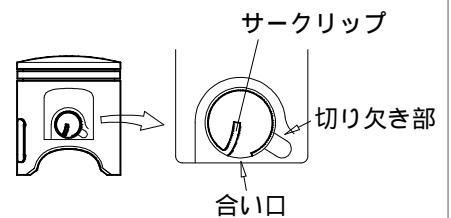
カッターナイフやスクレーパーなどで付着したガスケットのカスを取り除き、ウエスで汚れを拭き取ります。

取り付け

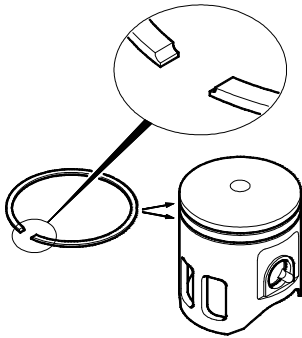
1. ピストンの取り付け  
キットのピストンにサークリップを片側だけ取り付けます。  
サークリップを回し、確実にセットされているか確認して下さい。



サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付け下さい。



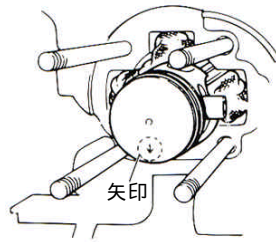
ピストンリングを取り付けます。  
ピストンリングには裏表があります。  
図のような方向で取り付けして下さい。



ピストンリング、ピストンピン穴、ピストンピン、ベアリングにオイルを塗ります。



コンロッドにベアリングを入れ、ピストンの矢印が下向き（排気側）になる方向で取り付けます。



ピストンのもう片方にサークリップを取り付けます。



## 2. シリンダの取り付け

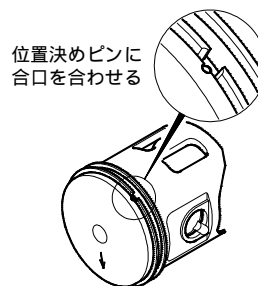
ラバーをノーマルのシリンダから取り外し、キットのシリンダに取り付けます。



詰めていたウエスを取ります。  
シリンダガスケットを取り付けます。



シリンダ内面にオイルを塗ります。  
ピストンの位置決めピンにリングの合口を合わせ、シリンダを取り付けます。



**確認！！**

シリンダが動かないように手で押さえ、ファンを回してピストンを動かしてみます。ここで、スムーズに動かないと、ピストンリングがピストンにしっかりとセットされていない場合があります。シリンダを取り付け直して下さい。

シリンダヘッド取り付け面をきれいに拭き取ります。

## 3. シリンダヘッドの取り付け

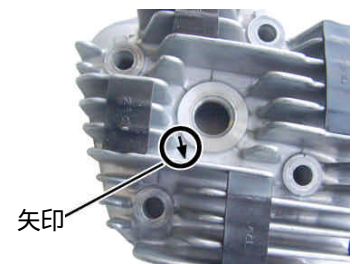
取り付け面をきれいに拭き取り、ヘッドガスケットを取り付けます。

### ヘッドガスケット



ラバーをノーマルシリンダヘッドから取り外し、キットのシリンダヘッドに取り付けます。

シリンダヘッドの矢印が下向き（排気側）になる方向で取り付けます。

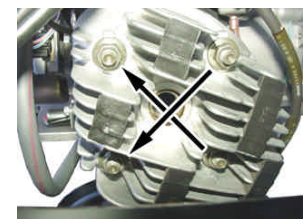


シリンダヘッドのナット4個を手で仮締めします。

キックスタータを数回動かしながら、ナット4個を対角に何回かに分けて本締めします。

### 締め付けトルク

14 N・m (1.4 kgf・m)



スパークプラグをまず手で締め込み、本締めします。

### 締め付けトルク

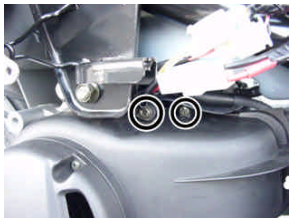
20 N・m (2.0 kgf・m)

#### 4. エアシュラウドの取り付け

ディフレクターをはさみこまないように注意しながらシリンダのエアシュラウドを組付けます。  
オイルラインのホース2本をエアシュラウドに確実に取り付けます。



ファンのエアシュラウドをオイルラインのホース2本をはさみこまないように注意して取り付け、スクリュ3本とタッピングスクリュ1本を取り付けます。



スパークプラグキャップを取り付けます。

#### 5. エアークリーナーケースの取り付け

キャブレタにコネクティングチューブを差し込み、クリップを取り付けます。



クリップ

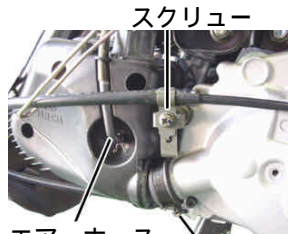
クランクケースカバーにコネクティングチューブを差し込み、バンドのスクリュを締め付けます。

スクリュ1本でケーブルガイドとカラーと共にエアークリーナーケースを取り付けます。

#### 締め付けトルク

$7\text{ N}\cdot\text{m}$  ( $0.7\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )

エアホースをエアークリーナーケースに接続します (YA100Wの場合)。



スクリュ  
エアホース バンドスクリュ

#### 6. マフラの取り付け

シリンダ側のボルト2本とステー部のボルト2本を仮締めします。



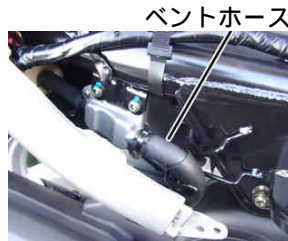
シリンダ側のボルト2本から本締めします。

#### 締め付けトルク

シリンダー側 :  $9\text{ N}\cdot\text{m}$  ( $0.9\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )

ステー部 :  $26\text{ N}\cdot\text{m}$  ( $2.6\text{ kgf}\cdot\text{m}$ )

ベントホースをエアインダクションに接続します (YA100Wの場合)。



ベントホース

#### 7. カバー類の取り付け

各スクリュでフットレストボードを取り付け、バッテリーのリード線を接続します。  
各スクリュでサイドカバー前を取り付けます。

サイドカバー左右のタッピングスクリュを取り付けます。

各ボルトでキャリアを取り付けます。

ナット2個でシートを取り付けます。

各スクリュでサイドカバーモール左右を取り付けます。

#### 8. エンジン始動

ネジやナット等のゆるみがないか各部を点検します。

エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

風通しが良く安全な場所で十分注意してエンジンを始動します。

エンジンからの異音や、各ガスケットからのオイル漏れがないか点検します。

**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>